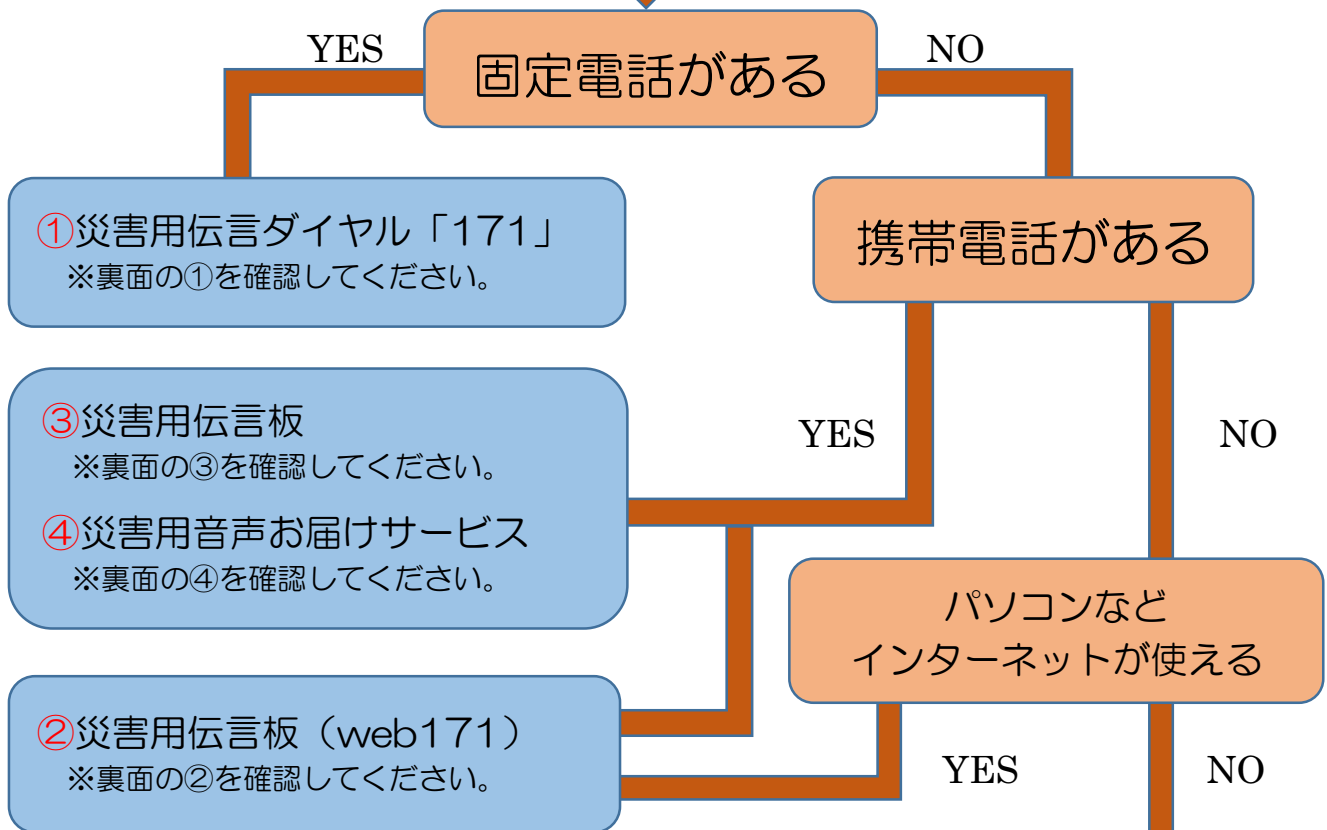


家族をつなぐ安否確認

現在、NTTをはじめとする通信事業者が複数のサービスを提供しており、それぞれ特徴や注意点があります。日頃から家庭内での安否確認方法を話し合い、大規模災害が発生した場合でも家族の安否状況を確認できるよう防災訓練などで検証を行っておくことが重要です。

あなたはどのように安否確認
しますか？



【安否確認ができる環境作り】

- 連絡方法（メモやボードなどを活用）
- 家族の集合場所

裏面へ

サービス名	サービス内容	サービス事業所	特徴	注意点
①災害用伝言ダイヤル「171」	<ul style="list-style-type: none"> 被災地内の住民が自分の安否を音声で録音することができる。また被災地内、被災地外の住民は録音された音声を再生して相手の安否の確認をすることができる。録音できるのは被災地内の固定電話、ひかり電話の番号で、携帯電話、PHS、IP電話の番号では録音できない。 	N T T	保存件数：10件 保存期間：2日 録音時間：30秒	被災地内の録音を優先するため、被災地外から利用できるのは録音された音声の再生のみ。
②災害用伝言板（web171）	<ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続できる端末（PC、スマホ、携帯電話等）から利用できる。 ほぼすべての番号で登録でき、文字メッセージのほか静止画、動画、音声も登録できる。 あらかじめ指定しておけば伝言板に安否情報を登録したことを家族や友人にメールや電話（音声ガイダンス）で知らせることができる。 		保存件数：20件 保存期間：6ヶ月	『災害用伝言ダイヤル「171」』で録音した音声は再生できない。
③災害用伝言板	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話から文字による安否情報の登録・確認・設定をすることができる。また、他社の携帯電話やパソコン、タブレットなどからインターネットを通じて確認することができる。 あらかじめ指定しておけば伝言板に安否情報を登録したことを家族や友人にメールで知らせることができる。 	N T T docomo	保存件数：10件 保存文字数：100文字 保存期間：運用終了まで	開設されるタイミングは、NTTが提供する『災害用伝言ダイヤル「171」』の運用に伴って開設される場合が多い。
		au	保存件数：10件 保存文字数：100文字 保存期間：運用終了まで	
		SoftBank	保存件数：80件 保存文字数：100文字 保存期間：運用終了まで	
④災害用音声お届けサービス	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に音声発信が集中して音声通話がつながりにくくなった場合に、音声通話に代わってパケット通信により音声メッセージを届けられるサービス。 自分が音声メッセージを録音すると音声メッセージを伝えたい相手にショートメッセージで知らせることができ、相手が音声メッセージをダウンロードして再生すると相手が確認したことを知らせるショートメッセージが自分に届く。 他社の携帯電話番号と音声メッセージの送受信が可能 	N T T docomo	保存件数：20件 保存期間：10日 録音時間：30秒	
		au	保存件数：20件 保存期間：3日 録音時間：30秒	
		SoftBank	保存件数：20件 保存期間：10日 録音時間：30秒	